

立体型マスクの作り方

使い捨てマスクの購入が、難しい状況が続いています。市では、皆さんからいただいた意見の中から、自宅で簡単な材料でマスクをつくる方法をご紹介します。



市ホームページで、マスクの作り方を紹介しています。

準備するもの

型紙(図1)、表布2枚、裏布2枚、ゴムひも2本、針、糸(手縫いでも作れます)、アイロン、はさみ

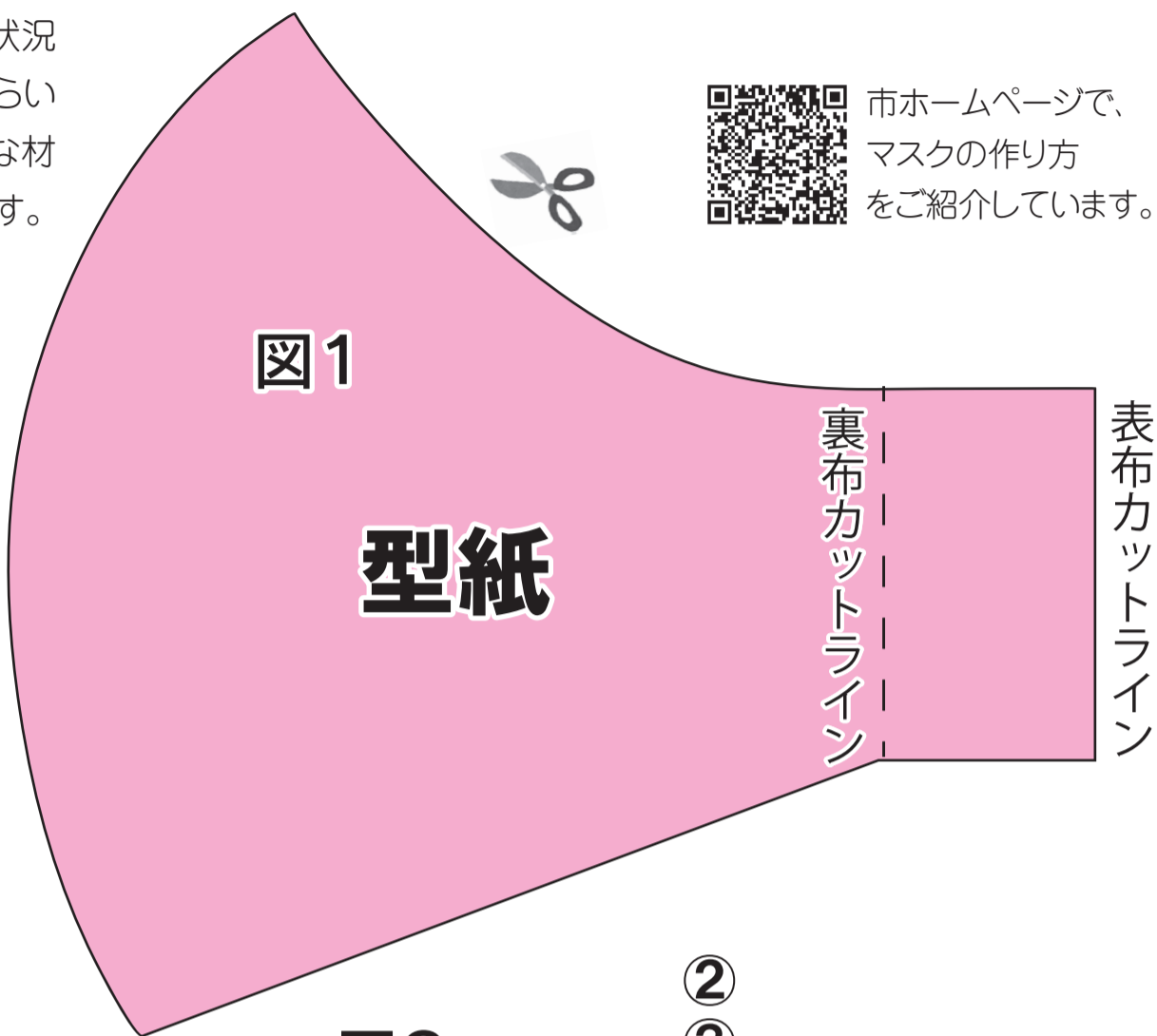


図1

型紙

裏布カットライン

表布カットライン

作り方

- ① 布地は型紙より1cm分大きくカットします。
- ② おもて布同士を図2のように、中央部分を線に沿って縫う。
- ③ 縫いしろに数cm間隔で切り込みを入れ、縫いしろを広げ形を整える(アイロンをかけると広がりやすい)。
- ④ うら布も同様に縫う。
- ⑤ おもて布とうら布を中表にして中心を合わせ、上下を線に沿って縫い、縫いしろに数cm間隔で切り込みを入れる。
- ⑥ 両脇の開いているところから指を入れ、おもて地にかえます。
- ⑦ 両脇のおもて布を3つ折りにしてゴム通しの部分を縫う。
- ⑧ ゴムを通して輪っかにしてマスクの完成(図3)。



図2

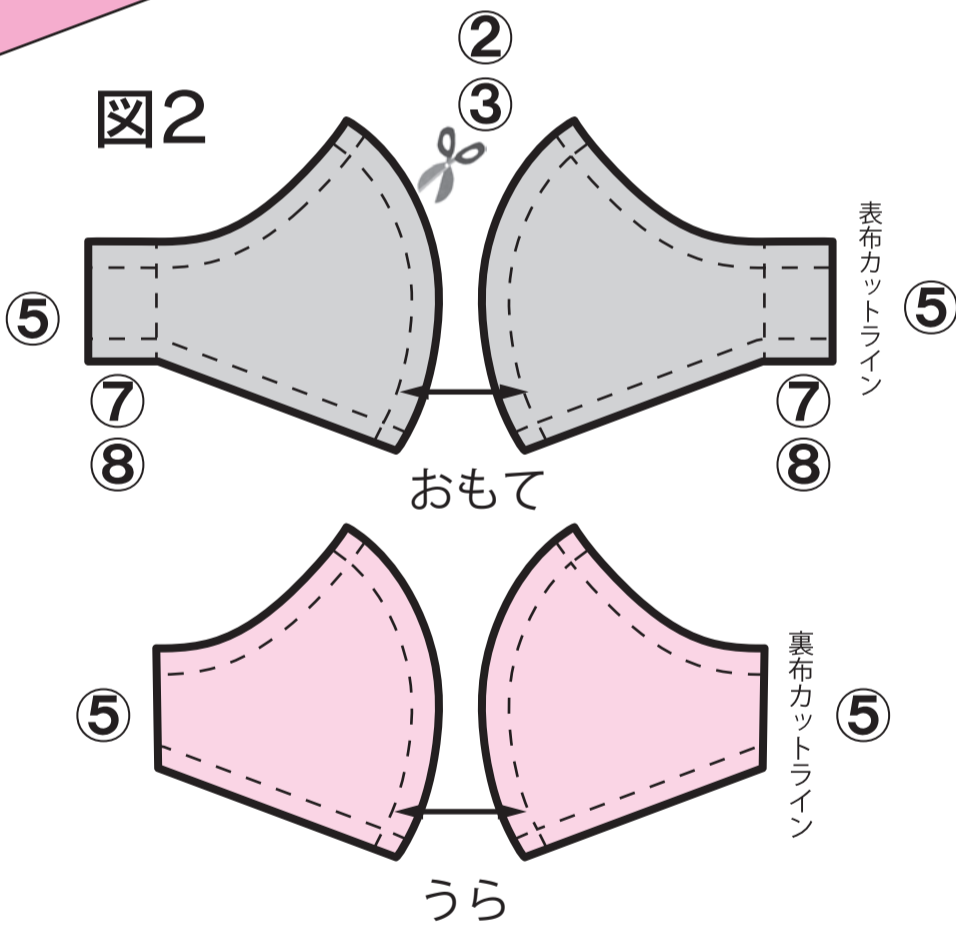


図3



布マスクの効果

布マスクは、花粉やウイルスの侵入を防ぐ効果はありませんが、くしゃみや咳などの飛沫を防ぐ効果があります。新型コロナウイルス感染症は、症状がなくても感染している可能性があるため、マスクをしましょう。

特別定額給付金(仮称)については、5月15日号でお知らせします